

言葉をつなぐ 心をつなぐ 親子をつなぐ

第2回親守唄滋賀県大会 親守唄コンクール 作品記入用紙

親守唄(おやもいうた)とは、子どもが五・七・五で、親が七・七で、
「感謝」と「親心」を表現するたった1つの家族の短歌です。

日本には、親が子を育てるときに その想いをこめてうたう「子守唄」があります。
親が子を想う「子守唄」と同じように、子が親を想う「うた」があってもよいのではないのでしょうか。
そう考えて生まれたのが「親守唄」です。
そしてさらに、親守唄を五・七・五・七・七の連歌の形にした、新たな『親守唄』ができました。
子が親を想い、上の句「五・七・五」をつくり、親が下の句「七・七」でこたえます。

--	--	--	--	--

(子) ママとよむ おやすみまえの おたのしみ
(親) すなおになれる まほうのじかん
(子) だっだど 風邪がうつるよ お父さん
(親) 何を言ってる 親子じゃないか
(子) お母さん ケンカしても 話したい
(親) 同じ気持ちで おもっている

部門	幼児・小学生・中学生・一般
学校名	保育園・幼稚園 小・中・高等 学校
学年	年
お名前	男 ・ 女